

I.AP 取組みの事業計画 平成 26 年度「大学教育再生加速プログラム」に採択された本学の取組は、AL の質保証と学修成果の可視化に取り組むことで、学生が自ら学び得た知を体系化し構築することを支援するとともに、教育の質保証の向上をめざすものです。よって、本事業では、「学修質保証システムの基盤整備」を中心に据え、①学修成果の明示、②AL の質保証、③学修成果の可視化による主体的学修支援の充実、④学修成果達成度による教育改善を連続して展開し、「学修の質保証システム」を構築します。これにより、今後ますます増加が予測される海外の大学や地域社会をキャンパスとする学びに対する質保証が可能となります。同時に、学修成果の可視化によって学修の質保証が進み、自律的学修者の実質的な育成が期待されます。具体的には、学修質保証システムの一部を構成するシラバスを中心とした ICT システムの構築は、学生自身が獲得すべき知識を体系化する力を高めるとともに、エビデンスに基づいて自己の学修成果を評価できる能力を強化することが期待できます。学修質保証システムのもう一つを担う学修相談システムの構築は、教職協働で学生のニーズに合わせた学修支援を提供することで、学生を中心とした学修環境の充実が期待できます。また、AL の質の向上は、何を学んだのかの振り返り、自ら知を体系化することを可能とする批判的思考力を身につけるために不可欠であり、21 世紀を生き抜く力の獲得が期待できます。これらの取り組みの結果として、授業外学修時間の確保に役立つことが期待できます。

